



#### ◇スクール・ミッション

「まこと つよく きびしく たのしく」の理念のもと、確かな学力と豊かな人間性や社会性を備え、自ら学び、自ら考え、自ら行動し、これからの社会に貢献できる人材を育成する。

#### ◇スクール・ポリシー（三つの方針）

育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ① 農業・環境分野の基本的な知識・技能と幅広い教養を身につけた生徒を育成する。
- ② 農業祭、学校農業クラブの活動など様々な交流活動を通して、豊かな人間性と社会性を備えた生徒を育成する。
- ③ 人と自然の共生に関わる諸課題を、主体的・合理的に解決できる生徒を育成する。
- ④ 他者と協力して行う実習活動を通して、自立と協働できる生徒を育成する。
- ⑤ 実践的な学びを通して、地域産業の活性化や持続可能な社会の担い手となる生徒を育成する。

#### 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 農場、スマート農業施設等を最大限活用し、実践的かつ先進的な授業を展開する。
- ② 農業改良普及センターなどの専門機関、人と自然の博物館や有馬富士公園などの地域施設と連携し、専門性の高い農業・環境学習を展開する。
- ③ 農作物の生産や自然環境に関する実験や調査・実習を通して、課題解決に向かう「プロジェクト学習」に取り組む。
- ④ 生徒の興味・関心や地域のニーズに合わせた「フローラルアート」や「クラインガルテン」など、地域に根差した学校設定科目を充実させる。
- ⑤ 人と自然科と総合学科の相互乗入れにより、農業の6次産業化に対応できる学びを設置する。

#### 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 特色ある実践的な農業・環境学習に意欲的に取り組む生徒を募集する。
- ② 農業実習を通して、自律的な行動や他者と協力する態度を身につけたい意欲のある生徒を募集する。
- ③ 地域の農業振興や社会貢献に積極的に取り組む生徒を募集する。

#### ※スクール・ミッション

各県立高等学校が育成を目指す資質・能力を明確にするため、設置者である兵庫県教育委員会が示す、各県立高等学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像。

#### ※スクール・ポリシー

学校教育法施行規則の一部改正により、高等学校が、課程または、学科ごとに、魅力・特色ある教育の実現に向けた整合性のある指針として策定・公表することが求められている「三つの方針」。